

| | | | | | |
|--|-----|-----|------------------|------------|--|
| 4 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書 | | 報告者 | 白井 | 参加 メンバー | CL(DN内): 方田 亀山、神戸、白井 各社含め合計 10 人 |
| | | 報告日 | 4/14 | | |
| 山 域 | | 山行日 | 15 年 4 月 4 日 (土) | | |
| 山 名 | 富士山 | | 15 年 4 月 5 日 (日) | | |

| | | |
|------|--------------|--------------------|
| 山行目的 | 全豊田山岳連盟 雪上訓練 | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------------|--------------------|

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



4/3
19:00 N1 駐車場発
22:30 道の駅着
4/4 小雨後晴れ
6:00 出発
7:00 茶屋
7:50 馬返
8:30 一本(2 合目)
9:30 一本(4 合目)
11:00 佐藤小屋着
11:30 佐藤小屋発
12:30 雪上訓練開始
15:00 雪上訓練終了
15:45 佐藤小屋
4/5 曇り時々雨
5:00 出発
8:30 佐藤小屋着
10:00 佐藤小屋発
11:20 馬返



雪上訓練中は快晴



雪上訓練後



佐藤さんからのお酒

〈山行報告〉 全豊田岳連の雪上訓練は昨年までは御岳にて実施していたが、今年は御岳の噴火の影響により富士山での開催となった。週頭の時点では大雨が予想されていたが、金曜までに前線が通過し天気は当初想定されたほどは悪くは無かった。登り開始時点では小雨が降っていたが 5 合目に着く頃には止んでいた。1 週間前のアイシンさんの偵察では氷が硬い高いとの報告があったが、一週間の雨により氷はほぼ溶けており、3・4 合目辺りに一部氷で滑りやすい所はあったものの、他はずぼずぼの雪であった。

5 合目の佐藤小屋に到着後、最低限の荷物を持ち雪訓に向かった。雪訓では滑落停止、アンカーの作り方 (スノーバー、土嚢袋)、確保技術 (スタンディングアックスビレー)、埋没体験、ビーコン探索、ゾンデ棒体験と雪上での基礎スキルを学んだ。あまり滑らない雪の状態だけが少し残念だった。2, 3 時間訓練し、気温が少し落ちてきた頃に山小屋に戻った。

佐藤小屋は貸し切りであった。装備の整理をしていると、オーナーの佐藤さんが次々と酒を持ってきて自由に飲んでいいよという。夜遅くまで焼酎や日本酒を片手に佐藤さんを交えて盛り上がった。一度持ち帰り全豊田全体に確認する必要があるものの、参加メンバー内では次回も利用する事で合意した。

翌日、亀山さん含む 3 名は山頂を目指し、方田さん、神戸さんと私は雪上訓練の復習に向う。雪上訓練ではアンカー作りの復習とロープワーク (グローブヒット、ガースヒッチ)、ATC、8 環の練習を行った。

悪くない天候の中で雪山の基礎スキルを一通り学べ、有意義な雪上訓練であった。これらのスキルを次は実戦で生かしたいと思う。

〈リーダー所見〉 テラテラに凍った雪面ではなくグズグズの雪面であり、その雪面での滑落停止、ロープワークなどの訓練を受け、翌日はデンソー (中堅以下) のみでの、技術の定着に向け訓練を企画し実行した。他社の熟練者の方が言う「通常富士山は、もっと過酷な状況だ」「まずは自分で判断できることが重要だ。その為には、経験が必要だ」富士山は、様々な斜面角、雪面の状態を提供してくれる。次回はテラテラの雪面で、自分自身で判断できる雪山登山者となるため、これ以上、危険だという感覚を身につけれる訓練を行っていきたい。



佐藤小屋にて

確認
(リーダー)
方
15/4/12
田
作成
(報告者)
白
15/4/12
井